

当センターでは以下の臨床研究を行っております

## 臨床研究にご参加をお願いします

主任研究施設：東京大学糖尿病・代謝内科

### 研究の目的

この研究全体の目的は、糖尿病や肥満症の原因遺伝子を調べることです。「遺伝子」とは、人間の身体をつくる設計図にあたるものです。2型糖尿病や肥満症は、たくさんの遺伝子の個人差の組み合わせによる体質（多因子遺伝）と生活習慣などの環境が複雑にからみあって発症します。

今回の研究では、2型糖尿病や肥満症に関係する遺伝子を研究することにより、「個々人の病気のなりやすさ」の予測や「個々人に合う治療」の提案ができるようになることを目指しています。

虎の門病院および虎の門病院附属健康管理センターは、上記主任研究施設と協力して「遺伝子・検査データと2型糖尿病の発症の関係を検討する研究」を行います。

### お願いすること

- 人間ドック当日あるいは外来受診の際に受ける血液検査のうち、余り（約2ml）の血液をわけてください（個人が特定できないようにして、血液から2型糖尿病の発症に関係する遺伝子を調べます）。
- カルテなどから得られる情報を使わせてください（個人が特定できないように加工します）。
- 詳しくは人間ドック当日あるいは外来受診の際に、研究スタッフが説明します。参加くださる方は同意書にご署名をお願いします。

### 研究から得られること

この研究は、参加された方に、今すぐお役立ちできるものではありません。しかし、この研究の成果が、新しい糖尿病の予防法や治療法につながれば、将来的に参加された方の利益になると考えています。全体の研究成果が公開された時点で、ご希望の方にはご自身の結果をお返しします。

虎の門病院

虎の門病院附属健康管理センター

研究責任者

院長 門脇 孝



国家公務員共済組合連合会

虎の門病院  
TORANOMON HOSPITAL

健康管理センター  
附属 画像診断センター

当研究についてのご質問等のお問い合わせ窓口：虎の門病院附属健康管理センター

統括センター長 本田 律子